第17回 情報センター等部門研修会

開　催　要　項

平成１３年９月４日（火）～６日（木）

社団法人私立大学情報教育協会
研修運営委員会

平成１３年度・私情協研修等事業一覧	
７月	大学情報化職員基礎講習会
８月	学内ＬＡＮ運用管理講習会
８月	授業情報技術講習会
９月	**情報センター等部門研修会**
１０月	大学情報化職員研修会
１１月	事務部門管理者会議

１．目的及び内容

本研修会は、私立大学の情報センター等の業務を直接または間接に担当する教職員を対象に、①情報化の方向性、②教育・研究支援(学術情報支援を含む)、③事務の情報化支援、④ネットワークの運用管理等、情報部門の責務と課題について研修を行い、関係教職員の資質向上と関係部門の発展に寄与することを目的とする。

統一テーマ：『大学は新しいメディア（IT）で何を行うか』
―― ＩＴを活用する教育の改革と教育支援 ――

インターネットに代表されるコンピュータとネットワークが結びついた新しい情報技術（ＩＴ）は「知」の創造や伝達の方法を大きく変化させ、社会・経済・文化など、あらゆる活動に変革をもたらしつつあり、教育においても、グローバル化を通して新しい高等教育の在り方が問われてきている。すなわち、従来の知識伝授型の教育から問題発見・課題探求能力の育成に重点をおいた学生参加型の双方向的な教育への転換が求められており、授業方法の改善や、授業時間外の学習支援など、教育の情報化に関するさまざまな取組みが要請されてきている。

それには、大学としての組織的な授業支援が必要となる。とりわけ、大学の情報センター部門に携わる教職員は、これまでのシステムの管理運用に加えて、ＩＴの活用を促進するコーディネータとしての能力が求められてきている。

そこで、今回は、情報センターや図書館、ＡＶセンターなどが、情報技術を活用して教育を支援するための方策について、情報環境の整備、諸機関の連携、支援体制整備の進め方など、情報センター等による新しい教育支援の在り方を検討する契機としたい。

２．基調講演

ＩＴを活用した教育現場では、今どのような問題を抱えているのか。教員の立場からＩＴを活用した授業改善の内容とその取り組みについて体験を紹介いただき、大学としてどのように支援することが望ましいのか、そのあり方を考える場を提供するとともに、事例を踏まえて、センター等部門職員の教育への支援について問題提起を行い、各分科会における討議の方向性を確認する。

３．各分科会の研修内容

第１分科会　情報部門管理者コース

（１）メインテーマ

「大学の情報化が目指すもの　―ＩＴによって大学の環境（教育・研究・経営）をどう変えるか」

（２）グループ討議の内容

大学の社会的使命である人材育成のため、どのようにＩＴを活用すべきか、情報部門の果たすべき役割とは何か？を考える。今の変革の時代にあって、管理者には、教育、研究、事務の支援の在り方についての判断力が求められている。例えば、教育改善のためのＩＴインフラの可能性と限界、ＩＴ支援要員の確保、教職員のＩＴ能力の研修、学内知的財産のセキュリティー対策、ＩＴによる大学間の連携などに対する判断と行動力が求められている。

そこで、このコースでは、大学が情報化の目標を設定する際の判断基準を整理し、情報部門の管理者が対応すべき課題について共通理解を図る。

（3）キーワード

① ＩＴコーディネータ
② ＩＴによる教育・研究の支援計画作り
③ 外部委託（アウトソーシング）の活用による要員体制の確保
④ 情報のディスクロージャとセキュリティー
⑤ インフラ整備は永続的な課題か

（4）参加対象

大学の情報センター、図書館、研究所等、情報部門の管理者の方。

（5）事例発表

参加者の事前レポートの内容等から、討議中に事例発表をお願いする予定。

（6）参加者レポート

上記の討議内容沿った提案、問題点、討議希望事項をＡ４サイズ1枚以内にまとめ、大学における実施内容、運用体制、検討課題などを紹介していただく。

第２分科会　教育・研究支援コース

（1）メインテーマ

「情報技術を活用し､大学の教育・研究を支援する
― 情報センターや図書館の再構築に向けて ―」

（2）グループ討議の内容

情報センターには、これまでの情報教育ではなく「教育の情報化」を支援するための組織的な対応が求められている。一方、図書館には、これまでの情報（図書）を蓄積、組織化し提供する機能から、教材・資料を電子化して蓄積する機能（デジタルアーカイブ化）や外部データベースへのゲートウェイとしての機能、さらには、学生が情報の洪水の中から必要とする知識を探索できるよう手助けする機能などが求められている。

このコースでは、各大学が情報技術の活用状況を披瀝し合い、例えば、教材・資料の電子化に対する支援、教員の Web ページ開設・運用の支援、情報技術やソフトウェア、データベース利用のための講習会実施など、これからの情報センターや図書館が教育・研究へ積極的にコミットし、教育研究支援の中心的な役割を担うための方策について討議する。

（3）キーワード

① 教職一体の教育支援（支援室）
② デジタルコンテンツの促進策と教材作成支援
③ ノート PC など移動体端末の活用と課題

（４）参加対象

教育研究をサポートする情報センター、図書館、研究所等の教職員ならびに管理者の方。

（５）事例発表

参加者の事前レポートの内容等から、討議中に事例発表をお願いする予定。

（６）参加者レポート

上記の討議内容に沿った提案、問題点、討議希望事項をＡ４サイズ１枚以内にまとめ、情報化支援室等を設置している大学における実施内容、運用体制などを紹介していただく。

第３分科会：事務の情報化支援コース

（１）メインテーマ

「事務の情報化の方向性と課題
―大学情報の共有化と情報公開を意識した業務改善―」

（２）グループ討議の内容

これまで、事務の情報化とは、定性的な大量の情報処理を行い、その結果を出力することに主眼が置かれていたが、情報技術の普及により、それらの情報に加えて、日々発生する情報を複合し、個々の職員が教育研究活動の意思決定を支援するための新たな合意形成の手段となり得ることが期待されている。そのため、個々の職員が大学の目的である教育研究活動に意見・提言できるよう、学内情報のデータベース化をはじめ、交流のシステム（セキュリティー対策を含む）について検討することが求められている。

本コースでは、情報技術を活用した業務改革のあり方について、情報の共有、公開、教育支援の視点から検討し、情報センター等の職員に必要な取り組みについて共通理解を図る。

（３）キーワード

① 情報の共有化と開示
② 管理情報と戦略情報
③ 教育・研究・事務の総合情報化
④ 教育研究支援
⑤ 情報リテラシー
⑥ 個別システムと総合システム
⑦ 個人と組織
⑧ データウエアハウス
⑨ OA化、業務改善、業務品質

（４）参加対象

事務の情報化を通じて教育改革、業務改善、大学改革を担当し推進する方

（５）事例発表

参加者の事前レポートの内容等から、討議中に事例発表をお願いする予定。

（６）参加者レポート

上記の討議内容に沿って、参加者の情報化に向けた現状と考え方をA4サイズ1枚以内にまとめ、発表していただく。

第４分科会　ネットワークコース

（１）メインテーマ

「ネットワークの運用管理と情報セキュリティー　－自由と安全の狭間で－」

（２）グループ討議の内容

今日、インターネットは教育・研究活動の様々な領域で活用されているが、インターネットの普及に伴い、大学のネットワークへの不正侵入・不正使用や、迷惑行為、ネットワーク犯罪など、多くの問題が生じており、構成員が関与した場合には、教育機関としての大学の姿勢が問われてくる。教育・研究目的の追求のため利用者から求められる自由（利便性）と、安全（セキュリティー）の狭間でネットワーク管理者の使命は重くなる一方である。

本コースでは、急速に拡大する利用者の要求に対して、ネットワーク利用のあり方や管理基準、運用体制のあるべき姿を模索する。

（３）キーワード

① 情報倫理（ネットワークの不正使用の防止に向けて）
② 個人情報保護とネットワークポリシー
③ 学内ネットワークとプロバイダーの活用
④ ノートPCなど移動体端末の活用と課題
⑤ 認証方式

（４）参加対象

ネットワークの運用管理に携わる情報部門の教職員ならびにネットワーク管理者。

（５）事例発表

参加者の事前レポートの内容等から、討議中に事例発表をお願いする予定。

（６）参加者レポート

上記の討議内容に沿った提案、問題点、討議希望事項をA４サイズ1枚以内にまとめ、参加大学における実施内容、運用体制などを紹介していただく。

４．募集定員　　１８０名程度（各コースとも４０～５０名程度）

※ 各コースとも参加人数が多い場合は討議希望内容によってグループ分けをする場合があります。

５．実施日程　　平成１３年9月4日（火）～6日（木）　2泊3日

《日程表》

※都合によりプログラムを変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

	9月4日（火）	9月5日（水）	9月6日（木）
7:00		朝食(7:00～8:50)	朝食(7:00～8:50) チェックアウト
9:00		分　科　会 （途中休憩有）	分　科　会
10:25			休憩
10:45			全　体　会
12:00	受　付	昼　食	
13:00	開会式 全体講演	分　科　会 （途中休憩あり）	
15:30	分　科　会 （途中休憩あり）		
17:00	チェックイン・自由時間	自由時間	
18:00	懇親会	夕　食	
19:30	フリーディスカッション		
20:00			
21:00			

６．参加費　　１名　２６,５００円（宿泊費は含みません）

７．会場および宿泊

ホテルニュー京都
〒602-8148 京都府京都市上京区堀川丸太町角　　TEL:075-801-2111 FAX:075-801-4519
（交通機関）
地 下 鉄：ＪＲ京都駅 ―地下鉄烏丸線(８分)→ 丸太町下車徒歩８分
バ　　ス：ＪＲ京都駅 市バスＢ乗り場 9 or 50 系統乗車 → 堀川丸太町（２０分程度）
タクシー：ＪＲ京都駅 → 現地（１５分程度）

宿泊費　　１名　２５,０００円　（２泊分）

宿泊費は開催第１日目に参加者が個人別に直接ホテルにお支払いください。
本研修会は合宿研修のため、参加者は全員ホテルニュー京都に宿泊いただきます。（部屋割りは当方で決めさせていただき、原則として大学毎、または参加グループ毎に２名以上の相部屋とさせていただきます。）

８．討議結果のとりまとめ

本研修会終了後（本年度末頃になります）に報告書をとりまとめ、参加者に送付します。

９．参加申し込み方法および締切期日

別紙参加申し込み用紙に所定事項をもれなくご記入の上、大学毎に一括とりまとめの上、７月２８日（土）までに郵送にてお申し込みください。

締切日以降でも定員に余裕があれば申し込みを受け付けますので、事務局へお問い合わせください。

※　以下の３点を大学単位に一括とりまとめの上、私情協事務局宛に郵送もしくはFAXにてお送りください(FAXの場合は必ず着信確認のお電話をくださいますようお願いいたします)。

1.参加申込者一覧：貴学の参加者全員についてとりまとめの上、記入してください。

2.参加者個人票：参加者毎に１枚、必ず本人が記入してください。

3.参加者レポート：参加者全員分の文書ファイルを納めたフロッピーディスク、および印字出力した文書を同封してください。
★「11.参加者レポート作成要領」を参照ください。

申し込み宛先：〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-14 No.1山崎ビル４Ｆ
社団法人私立大学情報教育協会 事務局
TEL:03-3261-2798

FAX:03-3261-5473

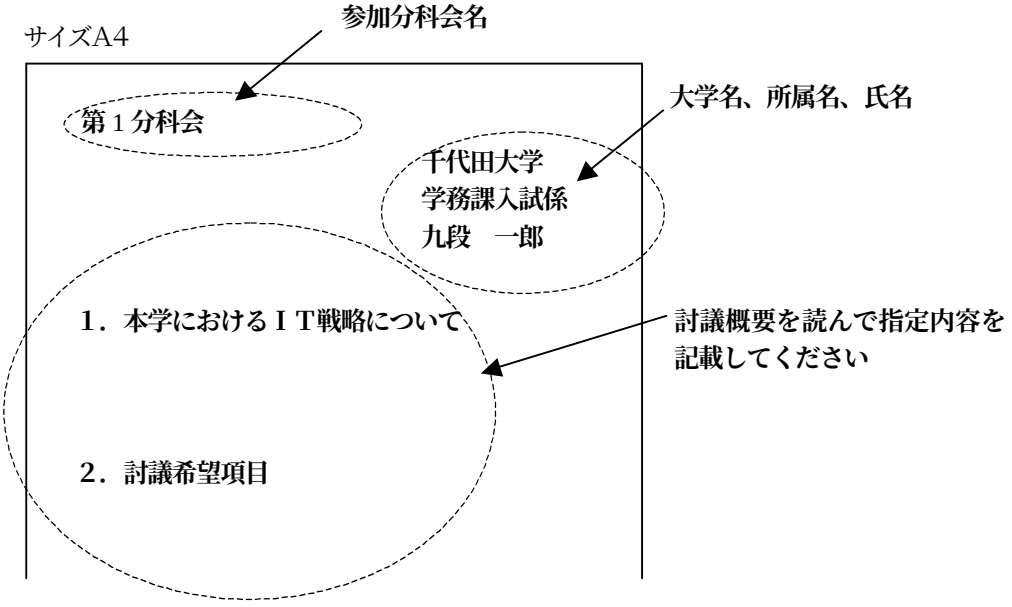
１０．参加費納入方法

参加費は、大学毎に一括して８月３１日(金)までに銀行振込にて納入してください。なお、納入された参加費は原則として返金いたしません。

＜銀行振込先＞　あさひ銀行　市ヶ谷支店
口座番号　（普）００５４４０９
名 義 人　（社）私情協

１１．参加者レポート作成要領

開催要項「３．各コースの概要と参加対象者　（６）参加者レポート」にある記載内容を参照の上、参加者自身が以下の形式で作成してください。
レポートは事前に同グループの参加者に配布し、討議資料とします。



レポートの提出方法については、「９．参加申込方法及び締切期日」を参照ください。

第１７回情報センター等部門研修会
参　加　申　込　者　一　覧　票

大学名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　事務連絡者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属及び役職名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　E-Mail＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所在地：〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（直・内）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿FAX.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	参　加　者　氏　名	所属及び役職名	参加希望 分 科 会
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

第１７回情報センター等部門研修会　参加者個人票

必ず参加者本人が記入して下さい。

大　学　名	氏　名（ﾌﾘｶﾞﾅ）	年　齢	性　別	申込分科会番号
		才	男・女	

所　属　及　び　役　職　名	勤務年数	現所属部課在職年数	喫　煙
	年目	年目	有・無

連　絡　先		
	電話番号	（直・内）
	FAX番号	
	E-mail	

参 加 動 機	１．自主的　２．上司からの指示　３．順番 ４．その他（　　）
参 加 目 的	１．自己啓発　２．他大学の現状調査　３．一般教養 ４．スキルアップ　５．その他（　　）

本研修会参加経験（○で囲ってください。）

１．無し　２．１回　３．２回　４．３回以上